

<報道関係各位>

2012年3月7日

石巻・「浜のミサंगा『環』」&「牡蠣養殖」推進協議会
三陸に仕事を！プロジェクト実行委員会

東日本大震災から1年…復興への懸命の歩みとご支援への感謝の気持ちを伝えます
**復興への祈りを込め漁網のミサंगाを編む石巻市福貴浦の女性らが
江田島の皆さんと牡蠣養殖を通じた交流を実施**

■3/13(火) 11:30~12:00 江田島市長への表敬訪問(江田島市役所)

■3/13(火) 13:30~江田島三高漁協、14:30~江田島美能漁協へ表敬訪問と交流

■3/14(水) 13:00~16:00「浜のミサंगा環」実演と復興語り：東急ハンズ広島店1F

石巻・「浜のミサंगा『環』」&「牡蠣養殖」推進協議会は、三陸に仕事を！プロジェクト実行委員会と連携し、「浜のミサंगा環 復興語りキャラバン in 広島」を、3月13日(火)、14日(水)に行います。

「浜のミサंगा環 復興語りキャラバン in 広島」は、復興への祈りを込めて漁網を使った「浜のミサंगा環(たまき)」を作り続けてきた女性たちが、ミサंगाを作るだけでなく支援いただいた各地の皆さんと復興を語り、ありがたい気持ちを伝えて交流し、また元気をいただくキャラバンです。

3月13日(火)、14日(水)の2日間は、震災以前は牡蠣養殖を行っていた石巻市福貴浦(ふっきうら)の漁業者で現在は「浜のミサंगा環(たまき)」を作る女性たちが、広島を訪問します。

■震災から1年…復興への長い道のりを歩む福貴浦。江田島市の漁協の皆さんと牡蠣の浜同士の交流を開始。

福貴浦(ふっきうら)は、東日本大震災で最も大きい人的被害を受けた石巻市の中心部から遠く離れた牡鹿半島に位置する小さな漁村です。牡蠣養殖を行ってきた福貴浦は、震災によって牡蠣養殖の基盤を根こそぎ破壊され生活の糧を失いました。昨年7月より少しずつ牡蠣の種付を始めたものの養殖の再生までには2~3年の育成期間がかかり、震災から先のみえない日々のなか、漁網を使ったミサंगा作りが浜の女性達の大切な仕事になっています。このような中、宮城県をご支援いただいた江田島市への感謝の意を込めて江田島市長および江田島市の牡蠣養殖業者を表敬訪問、牡蠣養殖を中心とした浜の再生を目指して江田島の皆さんとの交流を行います。

■浜の女性たちが復興へ願いを込め、漁網で手作りした「浜のミサंगा環(たまき)」実演と復興語り

震災で被害を受けた三陸の浜で生まれた「浜のミサंगा環」。いわし漁などに使われる漁網と麻紐を使って浜の女性たちが心を込めて編みこんだミサंगाは、浜から浜へと広がり、これまでに岩手・宮城の約300人の作り手により144,443セットを生産。ミサंगा1セットのご購入で700円以上が被災地の皆さんの賃金となり、これまでに95,910,152円が被災地に支払われ(2012年2月29日現在)、震災で深く大きな傷を負った浜の女性たちに仕事と仲間、そしてほっとする笑顔をもたらしました

3月14日(水)は、復興への祈りを込めて、被災者と支援者をつなぐこのミサंगाを作ってきた石巻市福貴浦の女性たちが、東急ハンズ広島店にて、手仕事の実演を行いながら復興への想いを直接語り、支援いただいた広島の皆さんと交流します。

なお本事業は、農林水産省の『食と地域の絆づくり被災地緊急支援事業(農山漁村コミュニティ活性化対策)』の支援を受けて実施しています。

つきましては、報道関係者の皆様には、ご多忙の折かと存じますが万障お繰り合わせの上、ぜひご取材いただきたくお願い申し上げます。

<本件に関する報道関係の皆様からのお問合せ先>

「三陸に仕事を！プロジェクト」広報デスク(プランニング・ポート) 福嶋・瀬尾
TEL: 06-4391-7156 携帯TEL: 090-8163-3160(福嶋)

<一般の皆様からのお問合せ先>

三陸に仕事を！プロジェクト実行委員会 info@sanriku-shigoto-project.com

※大変お手数ではございますが、会場準備の都合上、当日ご取材いただける方は、
FAX返信用紙にて3月12日(月)までにご連絡をお願いいたします。

概 要

- 名称 「浜のミサンガ環 復興語りキャラバン in 広島」
- 日時 2012年3月13日(火)、14日(水)
- 主催 石巻・「浜のミサンガ『環』」 & 「牡蠣養殖」推進協議会
- 企画・運営 三陸に仕事を!プロジェクト実行委員会
- 趣旨 被災地・三陸で生まれた復興への想いを込めた手仕事「浜のミサンガ環」は、震災で深く大きな傷を負った浜の女性たちに仕事仲間、そしてほっとする笑顔をもたらしました。そこで今度は、ミサンガを作るだけでなく支援いただいた各地の皆さんと復興を語り、交流し、ありがたい気持ちを伝え、また元気をいただく、感謝と復興のキャラバンを行います。

■内容 3月13日(火) 江田島市長へ表敬訪問

【日時】3月13日(火) 11:30~12:00

【場所】江田島市役所

3月13日(火) 石巻市福貴浦の浜の女性らが、江田島市三高漁協、美能漁協を表敬訪問

牡蠣養殖を営んできた福貴浦の女性達が江田島の漁協を表敬訪問し、牡蠣養殖の作業現場を訪問、交流をさせていただきます。

【日時】3月13日(火) 13:30~14:30 江田島三高漁協
14:30~15:30 美能漁業協同組合

【場所】江田島市 三高漁業協同組合

住所: 江田島市沖美町三吉 2633-9

江田島市 美能漁業協同組合

住所: 江田島市沖美町美能 1010

3月14日(水) 「浜のミサンガ環」石巻市福貴浦の女性たちによる実演&復興語り

復興への祈りを込めてミサンガを作ってきた石巻市福貴浦の浜の女性たちが、手仕事の実演と販売を行いながら復興への想いを直接語り、支援いただいた広島の皆さんと交流します。

「浜のミサンガ環(たまき)」(太・細2本セット/1,100円税込)

ブルーバージョン(青)・ウインターバージョン(緑)・ホワイトバージョン(白)・

さくらなでしこバージョン(ピンク)の4種を販売。

さくらなでしこバージョン(ピンク)の実演を行います。

【時間】13:00~16:00

【場所】東急ハンズ広島店1F

住所: 広島県広島市中区八丁堀 16-10 TEL:082-228-3011(代)

「浜のミサンガ 環（たまき）」について

未曾有の大震災から1年が経とうとしています。避難所から仮設住宅へと住まいは移ったものの、地域の暮らしを支え、生きていくための原動力となる「仕事」はまだまだ得られていません。仮設住宅に移ることで、暖房費を初めとした水道光熱費などの支払いが必要になってきました。被災地にはなかなか思うような仕事が無く、故郷から離れざるを得ない人たちが増えてきています。

これらを打開するために、お金だけのためではなく、やりがい、張りあい、そして未来に希望をつなぐ心の糧を創出する「キャッシュ・フォー・ワーク」を取り入れたのが、三陸に仕事を！プロジェクト「浜のミサンガ 環（たまき）」です。

このプロジェクトは、被災地で雇用を生み、被災地にお金を還流させ、仕事があることで元気を生む、仕組みです。大船渡市三陸町や釜石市などの生産グループ数名でスタートしましたが、浜から浜へ、ついには県を越え 宮城県までの広がりを見せています。震災直後は、家も家族も失って、呆然としてこもりがちになり、未来も希望も見えない日々が続きましたが、囲炉裏で仲間と一緒におしゃべりをしながら、一生懸命ミサンガ作りに励むことで、静かだった被災地に笑い声や、今後の話をする場が生まれました。

“環”とは、日本古来のブレスレットの呼称です。被災地にあった使われない漁網を利用し、ひとつひとつ漁網で編んだオリジナルのミサンガは、被災者の女性たちがグループになって手仕事で作り、2011年6月に第一期限定販売、その後も東北地方をはじめ全国各地の店舗やインターネットを通じて販売してきました。

ミサンガの販売代金1,100円(1セット・税込)のうち、材料費や販売経費、諸経費を除いた576円が作り手の方々の賃金となります。また、材料である網を切ったりする二次加工を担い、作り手さんをサポートする現地の被災企業・被災者の方々にも1セットにつき154円(為替や材料費の変動で変化)が支払われ、被災地の方々の収入になります。

●キャッシュ・フォー・ワーク報告 2012年2月29日現在

【生産数】	144,443 セット
【販売数】	131,487 セット
【作り手さんの人数】	298 人
【作り手さんの収入】	83,199,168 円
【生産管理者さんたちの収入】	12,710,984 円

※キャッシュ・フォー・ワーク(Cash for Work)とは

「労働対価による支援」の訳。被災された方々みずからが復旧・復興のために働き、それに対して対価を支払う支援プログラムのことです。多くの途上国の災害復興の場面で採用されてきた実績があります。例えば2004年のインド洋大津波災害の被害を受けたインドネシア、2008年にミャンマーを襲ったサイクロン災害、2010年のハイチ大地震など、こうした災害では多くのNGOや国連機関によりCFWが実施され、その効果を挙げてきました。

- ・運営母体：三陸に仕事を！プロジェクト実行委員会
- ・事務局：岩手めんこいテレビ・仙台放送・盛岡博報堂・
仙台博報堂・博報堂テーマビジネスユニット
- ・活動推薦団体：キャッシュ・フォー・ワーク・ジャパン

代表 永松伸吾（関西大学社会安全学部 准教授）



F A X返信用紙：06-6110-7759

《F A X返信用紙》

「三陸に仕事を!プロジェクト」広報デスク
(プランニング・ポート内) 福島・瀬尾 宛

東日本大震災から1年…復興への懸命の歩みとご支援への感謝の気持ちを伝えます
**復興への祈りを込め漁網のミサガを編む石巻市福貴浦の女性らが
 江田島の皆さんと牡蠣養殖を通じた交流を実施**
 ■3/13(火) 11:30~12:00 江田島市長への表敬訪問(江田島市役所)
 ■3/13(火) 13:30~江田島三高漁協、14:30~江田島美能漁協へ表敬訪問と交流
 ■3/14(水) 13:00~16:00「浜のミサガ環」実演と復興語り:東急ハンズ広島店1F

□取材

(3月 日 時頃~)

媒体名		
御社名		
部署名		
ご芳名	他 名様	
連絡先	TEL	FAX

《備考欄》 ご取材につきご要望・ご質問等ございましたら、ご記入願います。

※大変お手数ではございますが、会場準備の都合上、当日ご取材いただける方は、
F A X返信用紙にて3月12日(月)までにご連絡をお願いいたします。